

札幌学院大学
コラボレーションセンター年報

Collaboration Center



第四号

2018-2019

藤原：今年一年コラボレーションセンター学生スタッフをやってみてどうでしたか？

菅生：もともと学生のサポートをしたいと思っていたのですが、この一年を通して学生の大学生活のサポートができたと思っています。

菅川：かなり対応力・適応力がついたと思います。パソコンやプリンターのトラブルなどいつも同じことではないので、このような点に関してはできるようになったのかなという印象があります。

藤原：スタッフになって変わったことはありませんか？

菅川：職員さんと会話するのが楽しくなりました。コラボレーションセンターは学生だけではなくて職員さんや、学外での関わりもあってるので、そういう場での会話も楽しめるようになりました。

藤原：そうですね！この前、北星学園大学で開かれた「北海道ピアサポートコンソーシアム」にも一緒に参加していたし、今後継続されるのであれば活動の中心になっていただきたいなと思います。

菅生：大学のスタッフとして働いているので、まず私が頼られても大丈夫なようにある程度のことを知っておくということ心がけています。

藤原：コラボと離れますが、大学生活はどうでしたか？

菅生：私は大学でサークルを始めて、今までやったことないことに挑戦してきたので人間的に成長できたと思います。

巻頭企画 コラボの系譜

コラボレーションセンター年報第4号は「学生スタッフ」の活動をテーマの中心としています。これまでコラボレーションセンターを支えてきた4年生とこれからを担う1年生の学生スタッフ3名で対談を行いました。



藤原昇汰
英語英米文学科4年
学生スタッフ歴4年



菅生夏音
人間科学科1年
学生スタッフ歴1年



皆川里帆
経営学科1年
学生スタッフ歴1年

藤原：二人から質問はありますか？

菅生：ピアサポートなどをしていて一番大変だったことは何ですか？

藤原：二・三年のとき、まだ大学やコラボレーションセンターに慣れていないので、パソコンで困ったことがあったんだ。MacとWindowsで仕様が違うじゃない？今ほどMacに慣れていなかったから印刷の方法がわからなくて、「お手数ですが、Windowsで印刷してください。」ということが何度もありました。機械に強い先輩が卒業してしまったら頼ることができなと思ったので、三年になってからMacも使えるように覚えしました。毎回同じ問い合わせで同じ対応ばかりではないので、臨機応変に対応する力がいつも求められると思います。

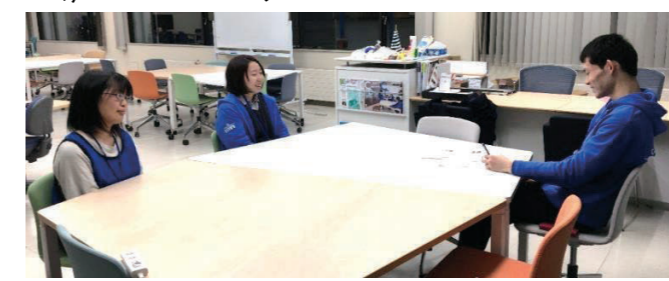
藤原：二人は勤務の中で困ったことや大変だったことはありましたか？

菅生：大学の施設の場所がわからなくて、イベントのことをあちこちへ聞きに行くときに、迷ってしまいました笑

菅川：いきなり一人勤務の時、対応したくない機械トラブルがあった大変でした。

藤原：なんでこういうのって新人のときに来るんだろ？笑

菅川：教室のスクリーンに画面が映らなかったのでマニュアル片手に走りました。



菅川：藤原さんがコラボレーションセンターで働くなかで何か得たものはありますか？

藤原：皆川さんが言っていたどんなトラブルも解決できるようにしたいとか、菅生さんも様々なサポートをできるようにしたい、と言っていたように、こんな質問に困ったということが三・四年生になってからなくなった気がします。機械全般プリンターやパソコンなどに強くなったのでコラボレーションセンターの業務でしか経験できないことがたくさんあったのかなと思います。

菅川：今後のスタッフに何か伝えたいことはありますか？

藤原：上下関係に厳しい職場じゃないけど、先輩から先輩に話しかけるのは少し緊張すると思うので、今いるメンバーは次の新スタッフが過ごしやすいように気配りや自分から話しかけてみたり、「コミュニケーションをとってほしいです」「仲良く」をモットーに。コラボレーションセンターに行きたいという気持ちになってほしいですね。

藤原：今後二人がスタッフを継続したとして、どんなスタッフになりたいですか？また、どんなコラボレーションセンターにしていきたいですか？

菅川：どんなことを聞かれても必ず解決できるようにしていきたいです。あと、学生の利用率をあげていきたいです。

菅生：コラボレーションセンターが学生たちの良い学びの場所になってほしいと思います。

藤原：今年度、二人が入る前は六人しかスタッフがいなかったんだけど、六月・十月に新スタッフが入ってきてくれて、今年度やってこれたのかなと思います。僕が卒業しても仲良く頑張ってください。

菅生：藤原さん四年間お疲れ様でした！

Contents

- 01 巻頭言
- 03 施設紹介
- 05 主催プロジェクト No.1
経営学部新入生歓迎企画、大学祭 etc
- 07 主催プロジェクト No.2
かき氷屋台 etc
- 08 主催プロジェクト 番外編
大喜利・謎解き
- 09 主催プロジェクト No.3
アールブリュット展 etc
- 11 SGU Lunch Time Talk
English Lounge
- 13 主催プロジェクト No.4
お正月企画 etc
- 14 学生スタッフ活動紹介
- 17 学生発案プロジェクト
- 22 広報活動・編集後記

Supporter

コラボレーションセンターの活動の趣旨にご賛同いただいた企業・団体の皆さまにサポーターとして広告を掲載して頂きました。

- 桑園自動車学校……………13
- 札幌学院大学文泉会……………21
- 札幌学院大学生生活協同組合……21



P.6
大学祭×イントロ



P.7
七夕×かき氷



P.9
ハロウィン×謎解き



P.14~
学生スタッフ活動紹介



P.17~
学生発案プロジェクト

施設紹介

コラボレーションセンター

コラボレーションセンター内の特色ある施設をご紹介します！

SPACE 2

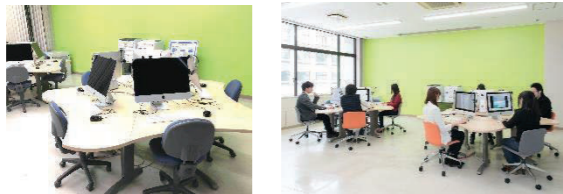
7つのプロジェクト用テーブルスペースと5台のiMacが設置されており、誰もが予約して利用することができるプロジェクトルームです。主に、講義やプロジェクト活動・部活動のミーティング等で利用されています。予約のない時間帯には室内は開放されているので、自由に学習している学生も多くいます。また、模造紙などの学習を手助けするものを貸し出しています。

今年度は、定期的に行われる「手話サロン」、キャリア支援課主催のガイダンスがこの場を使って行われていました。



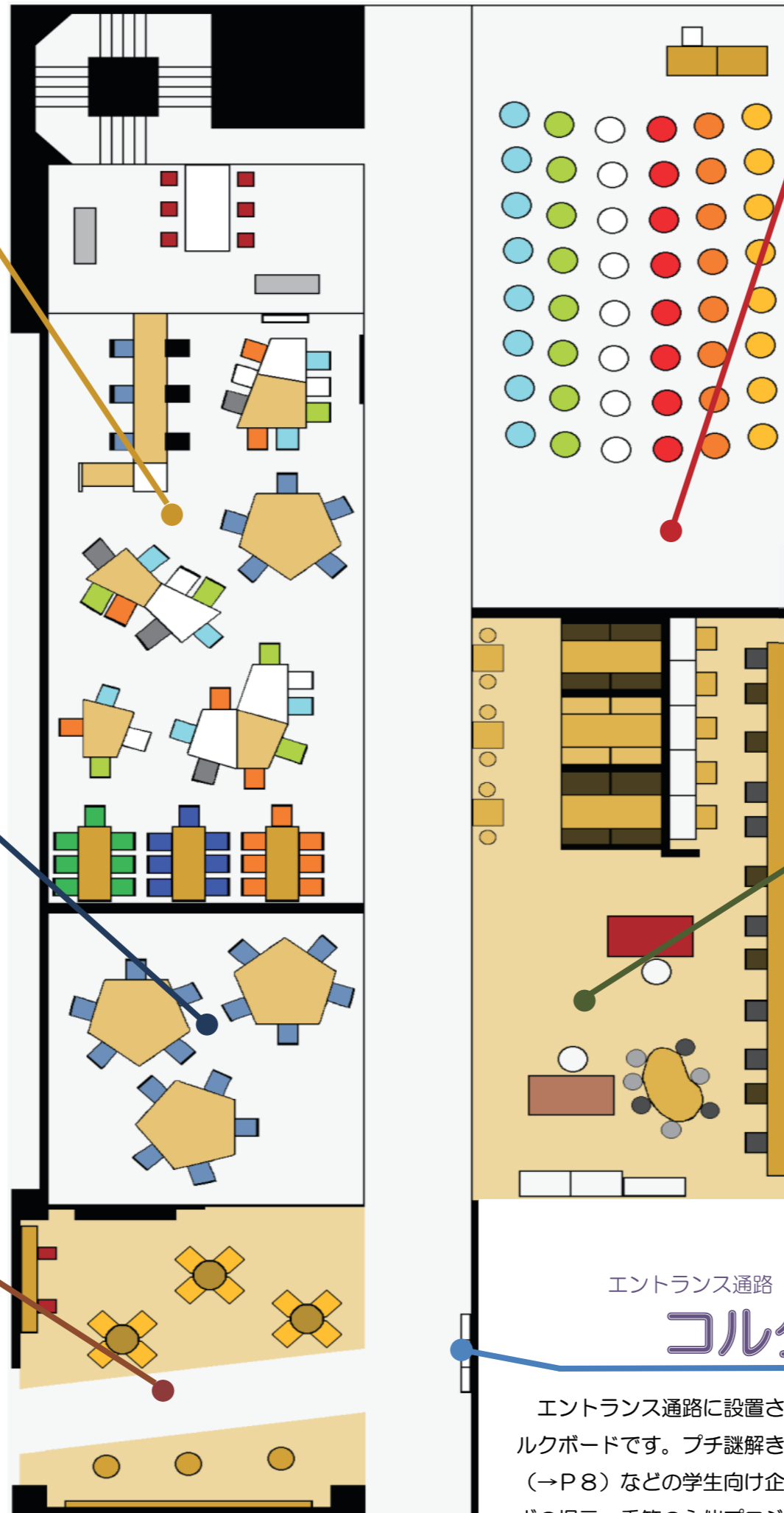
SPACE 1

15台のiMacが設置されたPC Roomです。主に、学生が講義で提出するレポートの作成を行ったり、事前・事後学習などに利用されています。パソコン以外の設備として、モノクロプリンタはもちろんですが、学内で唯一学生が利用できるカラープリンタも設置されています。すぐ隣のSPACE 2には、学生スタッフが勤務しているためPCトラブルの際などの対応も素早く行うことができます。



ENTRANCE

学生と教職員が集い、知的好奇心を刺激する場として利用されています。昼休みには、「English Lounge」や「SGU Lunch Time Talk」「部活動サークル紹介Time」等のイベントが行われてきました。また、コラボレーションセンターのイベントはもちろんのこと、学生発案プロジェクトやゼミの発表の場としても活用されています。



SPACE 3

グループ学習のための可動式の椅子や、マルチメディアなどが充実したセミナールームです。主に、講義や演習、就職セミナーなどの教室として利用されています。可動式のホワイトボードも設置されているので、利用者が使用目的に合わせて自由に室内のレイアウトを変えることができます。そのため、グループ学習やアクティブラーニングにも最適な場所です。



SPACE3を利用する先生の声

キャリアデザイン演習A(1)・(2) 英語IIA(25)・IIIA(8)・IVA(8)

他の授業で、大教室を使うこともありますが、コラボレーションセンターを使用すると、学生との距離が近くなるように思えます。グループ学習がメインですが、スムーズに話し合いに入ることでできる点が良かったです。
(別当屋敷 美穂 先生)

毎週木曜日の1・2講目の教養英語でSPACE3を利用しています。私にとってのこの教室の魅力は、座席を動かしやすいことです。授業では、英語を身に付けたり意見交換したりするためのペアワークをさせますが、座席が動きやすいと学生同士教え合ったり意見を言い合ったりしやすいようです。
(真田 敬介 先生)

SPACE 4

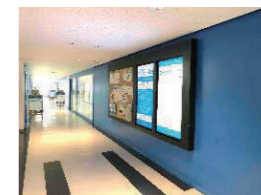
様々な種類の椅子やテーブルが設置され、個人学習やグループ学習など様々な用途に使用できる、カフェをイメージした落ち着いた空間です。軽食・飲み物の自動販売機があり、雑誌・絵本、多数の電源プラグなども完備されており、ここには主に、講義の空き時間に自主学習に取り組む学生や、お菓子を食べながら勉強する学生などが集まっています。



エントランス通路

コルクボード

エントランス通路に設置された大きなコルクボードです。プチ謎解き・大喜利(→P8)などの学生向け企画や広報コラボの掲示、季節の主催プロジェクト(→P5~)の告知などに利用しています。



施設利用時間

平日 8:30~21:30
土曜日 8:30~16:30
(日曜・祝日は利用できません)

※8:30~9:00の間は、開室作業を行っている場合があります。

※イベント開催等による一時的な施設の使用可能時間の変更はFacebookページ等にてご案内します。

昔懐かしい曲から最近のあの曲まで!!

イントロクイズ

青嵐祭

6月30日(土)に開催された大学祭で、コラボレーションセンターではイントロクイズを行いました。夏らしい雰囲気装飾された会場には、20人を超える方々にお越しいただきました。クイズでは、最新の曲から昔懐かしい曲まで幅広く出題したため、悪戦苦闘する参加者も見受けられました。しかし、最終的には得点が並んだため、サドンデスで決着をつけた場面では盛り上がりが見られました。参加者ひとりひとり楽しんでいただけたのではないのでしょうか。



学生スタッフも浴衣に着替え会場を彩りました!!

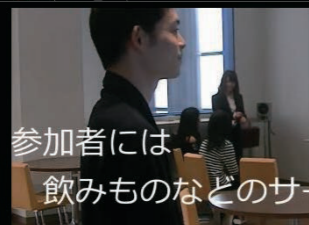
コラボレーションセンターが作成した動画はこちらから視聴できます!!



SGU Lunch Time Talk
紹介動画
(Collaboration Center)
<https://www.youtube.com/watch?v=00QzNS0eZZU>

紹介動画制作

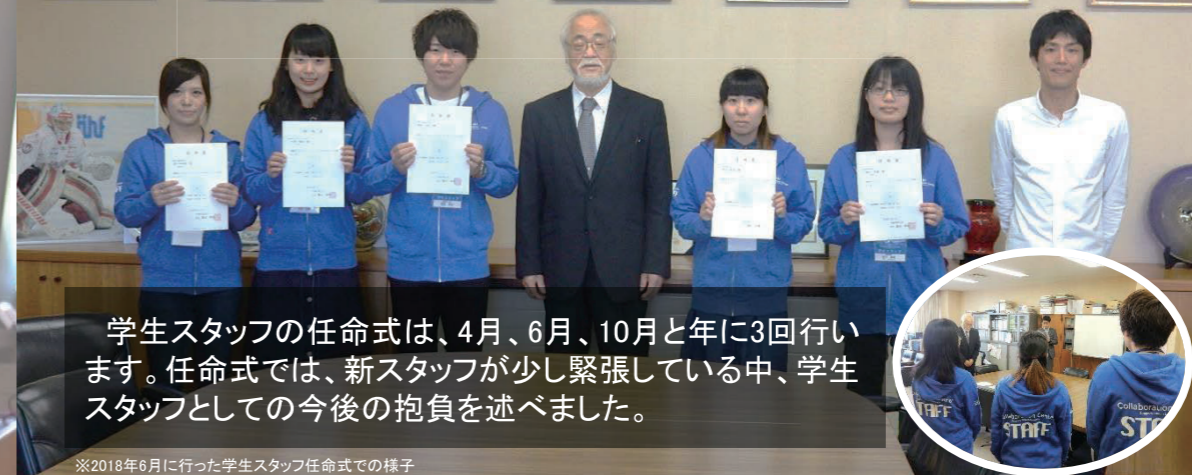
SGU Lunch Time Talk



参加者には飲みものなどのサービス



2018年度は新たに8名が 学生スタッフ任命式



学生スタッフの任命式は、4月、6月、10月と年に3回行います。任命式では、新スタッフが少し緊張している中、学生スタッフとしての今後の抱負を述べました。

※2018年6月に行った学生スタッフ任命式の様子

ウェルカムアワー

コラボレーションセンターの学生スタッフは、毎年入学式での「ウェルカムアワー」で司会を務めています。今年度もウェルカムアワーにて学内の部活動・諸団体が作成した諸活動紹介動画を上映しました。新入生にとって学内の活動を知り、参加するきっかけになったのではないのでしょうか。作成して下さった部活動・諸団体のみなさま、ありがとうございました。

経営学部新入生歓迎企画



4月3日(火)、経営学部の新入生を対象に、謎解きイベント「新・桃太郎伝説」を行いました。お伽ばなしに登場する桃太郎の子孫が、再び鬼ヶ島へ鬼を退治しに向かうというストーリーに合わせて、さまざまな謎を出題しました。「学部やゼミ内での交流を深めてもらう」ことに重点を置いて展開を考え、イベント当日は学生スタッフが新入生の交流を促し、積極的に学生と関わりを持つことができました。イベントの終盤には学生の笑顔も増え、開始時よりも打ち解けた雰囲気を感じました。

謎解き

江別市リアル謎解きゲーム

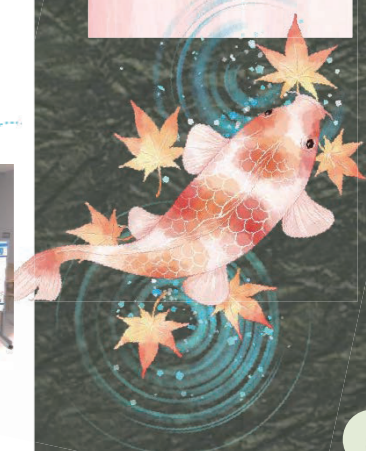
「えべちゅんクエスト〜とりもどせ! 江別のキオク」

江別市主催のリアル謎解きゲームで出題される問題の作成に協力しました。



端午の節句

4月中旬ごろから「端午の節句」に向けて鎧兜と五月人形を展示しました。この鎧兜と五月人形は、佐々木南夫様から寄贈していただいたものであり、季節行事を彩ってくれました。



Collaboration Center 主催プロジェクト

番外編

コラボレーションセンター主催のプロジェクトは季節イベントではありません。
エントランス通路に設置された大きなコルクボードを活用して学生参加型の通年プロジェクトも進行中！
ここでは、大人気企画「大喜利」と「プチ謎解き」を紹介します！



短冊に想いを込めて
たなばた

隔週水曜日更新！ コルクボード 大喜利

2018年5月に新登場した大人気企画です！
学生スタッフが考案したお題に対し、エントランスに回答BOXを設置して、学生から回答を募集中。
最優秀賞・優秀賞を選考する学生スタッフもつい笑ってしまう傑作多数！…うーん、座布団何枚？？

第1回 「SGU」の正式名称って何？
最優秀賞
最上級 ガールに恋して ウルトラソウル
(人間科学科・てやんでいボンバー)

優秀賞
すごく げんきがでる うめほし
(こども発達学科・HNさん)

* 回答数 15件
ご回答ありがとうございました！

第5回 「年に1回会えるはずの織姫と彦星。でも今年は会えない…その理由は？」
最優秀賞
ジャニーズのライブとかぶったから (英米・さと)

優秀賞
VISAがおらなかった。(英語英米・三遊亭好平)

* 回答数 15件
ご回答ありがとうございました！

第8回 「ガラスの靴を履けて王子と結婚できた。その後どうなった？」
最優秀賞
王子が漢気じゃんけんんで負け多額の借金。シンデレラと離婚(H.S-Hz)

優秀賞
実は王子も履けた(経済-USO)

* 回答数 15件
ご回答・投票ありがとうございました！

最優秀賞および優秀賞の選考は、第6回までは学生スタッフが、第7回以降はTwitterのアンケートで行っています。

昨年引き続き、今年もD館二階の通路に七夕にちなんだ装飾を設置しました。また、自由に書き込むことができ、短冊を用意したところ、たくさんの方が書いてくださり、たくさんの学生が願いを書いてくれてました。その合計なんと**四七〇枚**！おかげさまで笹の枝は大きくしなり、装飾はより豪華なものになりました。勉強に関するものはもちろん、恋愛の願い事やご友人の幸せを願う短冊もありました。中には「日本語が上達しますように」などといった留学生のみなさんのものだと思われる願い事も多数見受けられました。これを機会に、日本の伝統文化に興味・関心を持っていただければ嬉しいです。



毎週月曜日更新！ コルクボード プチ謎解き

昨年から引き続き大人気の企画です。
コルクボードの前を通るとき、つい足を止めて考え込んでしまう…そんな学生が多発中！
今年度出題した謎の中からいくつかピックアップしました。
あなたには答えがわかるかな…？ 問題の答えはP21へ！

Q.1

柿の右には愛がある
寿司の左には土がある
橋の左には？がある

Q.2

①O+住
②G+雨
③C+錠
④B+欠

仲間はずれを見つけてください。

Q.3

科学+化学=数学
国語=英語
生物+音楽=〇〇

〇〇に入るのは次のうちどれ？
1. 歴史 2. 倫理 3. 美術

Q.4

？に入るひらがなは？

11	=ぶ	8	=?
3		11	

5 = み 1 = が

4 1

Q.5

〇〇に入る都道府県名は？

秋田→青森→岩手→〇〇

Q.6

か さ ま し

+4 +4 +1

Q.7

〇に入るアルファベットは？

S-M-〇-D-W-M-Y

ヒントは言葉の対義語です

Q.8

☆	☆	☆
☆	☆	☆

(?1), (?2)に入るひらがなは？

学内に涼を かき氷屋台

七月十一日(水)から十三日(金)の期間でコラボレーションセンターのエントランスにて「かき氷屋台」を出店しました。季節行事「七夕」の企画の一環で行い、夏らしさを感じられるひと時となったのではないのでしょうか。多数のシロップの他に、無料のトッピングを用意したことに好評を得ることができました。また、ツイッターでの無料提供企画も行い、のべ**一八〇杯以上**のかき氷を販売することができました。



Collaboration Center 主催プロジェクト No.2





不思議な招待状に導かれて...



ある日、パーティーの招待状が届いた。会場は大きな島にある立派な館だ。

パーティーに参加していると、魔女がやってきて参加者全員に魔法をかけてしまった。

魔女がかけた魔法は、参加者を「妖怪」に姿を変えてしまうものだ。

この島を脱出するために魔女の魔法をとき、館から脱出しなければ！

魔女の館と魔法の招待状

謎解きゲーム



十月二十七日(土)、コラボレーションセンターにて、謎解きイベント「魔女の館と魔法の招待状」を開催しました。ハロウィンに彩られた会場では、学生スタッフも仮装し、謎解きの物語を演出しました。当日は幅広い年代の方が参加され、和気あいあいとした雰囲気となりました。ゲーム終了後に配布したアンケートには、難しくもかなり満足という評価を多くいただきました。

ハロウィンツリーをエントランスに飾りました。

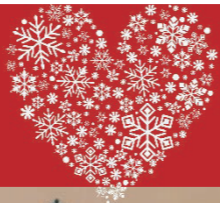


アールブリュット展

十一月七日(水)〜八日(木)にコラボレーションセンターのエントランスにて、「SGUアールブリュット展」が開催されました。アールブリュットとは、「既存の美術や文化的背景を有しない人による芸術作品」という意味のフランス語です。本学の学生の作品をはじめ、北光福祉会、ともに福祉会、ペングアートなど地域の事業所からご協力をいただき、たくさん作品が展示されました。



SGU Collabo Christmas



十二月、クリスマステーマにした装飾のほか、サンタクロースへのお願い事を付箋に書く企画を行いました。



十二月二十四日(月)、新さっぽろサンピアザ光の広場にて本学主催の周年事業であるパネル展が開催されました。コラボレーションセンターは、クリスマス謎解きラリーを企画しました。当日は、二五〇名を超える方々に参加していただきました。クリスマスや札幌学院大学にちなんだ謎は、好評をいただきました。



コラボレーションセンターのお昼休みは「English Lounge」や「SGU Lunch Time Talk」等のイベントが行われています！
ぜひお昼休みはコラボレーションセンターを利用しましょう！！



お昼休みはコラボに行こう！

English Loungeは、英語を使って交流する場としてにぎわっています。平日の昼休みにエントランスでほぼ毎日開催されています。英語・国際交流担当の教員や、英語に興味のある学生を中心に活動し、英語英米文学科以外の学生も多く参加しています。他大学の学生も参加できますので、興味のある方はエントランスを覗いてみてください！



実際に参加してくださっているコホ先生にインタビューしました！

コホ先生は気さくな方でとても話しやすいです。自分は教養ゼミナールA,Bの授業でお世話になりました。授業のない時間には研究室にお邪魔して、雑談の中で英語を教えてもらうことや私から日本語を教えることもあります。
インタビューア：英語英米文学科4年 藤原

コホ JC Jr 先生
英語英米文学科講師
ブラジル出身
教養英語、教養ゼミなどを担当
コーヒーとチョコレートが好き



藤原…先生は私の入学前から担当されていますが、このイベントについてはどのような印象や感想をお持ちですか？
コホ先生…こういう場が設けられているのは数ある大学の中でも珍しいことです。学生、教員共に良い交流の場になっていると思いますよ。授業よりも緊張しない環境なので学生が積極的に英語を話す様子が見受けられます。

藤原…授業を持っていない学生だとここでしか会わないと思いますが、この場を通じて学生の成長を感じることはありますか？
コホ先生…実際にここに来て英語が上達した学生はいませんが、English Loungeに始めた頃は積極的に話さなかった学生も今ではよく話してくれるようになりまし。英語に対する姿勢が変わったというのを感じることがあります。ただ、全てがEnglish Loungeのおかげではなく学生自身の努力があっての成果です。

藤原…今までのEnglish Loungeについて、先生の印象に残っている場面はありますか？
コホ先生…話をするだけではなく、クリスマス時期にはプレゼント交換をしたり、季節に合わせた行事も開催しているのでそれも楽しいですよ！2017年のクリスマスは印象に残っています。

藤原…最後に利用者や今後参加する人にメッセージをお願いします。
コホ先生…ここにいるときは、学生と教員である以前に私たちは友達のようなものです。ただ、座って一緒に喋ろう、くらいの気持ちで来てください！参加したことのある人は、これからもEnglish Loungeで会えることを楽しみにしています。

取材・記 学生スタッフ 藤原

月に1回程度開催！

SGU Lunch Time Talk

ランチタイムトーク



2018年
11月22日 木 12:30-13:00
Collaboration Centerエントランス (C館2階)
第7回 SGU Lunch Time Talk
「私失敗ばかりしているの・・・」
話し手：山本 政俊(人文学部人間科学科教授)

TVドラマ「外科医大門未知子」決め台詞は「私失敗しないんです」。これを毎日聞かされると、「失敗しちゃいけないんだ」「失敗ばかりしている私はなんてダメ人間なんだろう」と刷り込まれてしまいませんか？栄光と成功だけが取り沙汰される社会の中で、「何もできぬ私がいる意味って何？」とか思いませんか？人間誰しも失敗もつまずきもエラーも挫折もあるのよね。「それをどう乗り越えたかなんか・・・私にはできそうもない」と逃げたくなります。私ほんと失敗ばかりしてきました。どんな失敗してきたか恥ずかしいですけどお話します。でも今日まで生きてきました。そして、今私は思っています。明日からもこうして生きていこうと。

SGU Lunch Time Talkは「飲食自由」です。お弁当などを食べながら気軽に参加できます。

SGU Lunch Time Talkとは
SGU Lunch Time Talkとは、札幌学院大学Collaboration Centerのエントランス (C館2階) にて開催する教職員が伝えたいトピックを話す企画です。ここで取り上げるテーマは、教員の研究テーマはもちろんですが、研究から派生したトピックや、教職員が関心を持って取り組んでいること、学生に身近なトピックなど、様々なトピックを取り上げます。
「他の学科にどんな研究を行っているのか?」「自分の所属する学科をこえて、興味や関心を広げたい」と感じている学生、札幌学院大学にはどんなことを研究している教員がいるのか? という地域の皆さまは、是非ご参加ください。
ランチタイムですので、軽食をとりながらの参加でも構いません。

札幌学院大学コラボレーションセンター
(担当事務局：学生支援課学生支援係)
collaboration@sgu.ac.jp

SGU Lunch Time Talkは教員のみならず学生および職員が特定のテーマで語ることで、新しいつながりを作る場を提供することを目的としています。教員の研究テーマはもちろんのこと、研究から派生したお話や教職員が関心を持って取り組んでいることなど、教職員が「伝えたい」話題をお届けする企画です。
教員が研究等についてイキイキと語り、学生はそこから刺激を受け知的な好奇心を動かします。



過去に開催された

SGU Lunch Time Talk

他にも様々なテーマで開催!!

「私の夢はジョージと結婚させること?」

吉川 哲生(経営学部会計ファイナンス学科 准教授)

「あなたはどのサーモンを食べますか?-水産生鮮物の品質と価格-」

森 邦恵(経済学部経済学科 教授)

「私失敗ばかりしているの?」

山本 政俊(人文学部人間科学科 教授)

「書道ってなにが楽しいの?」

河合 直樹(人文学部人間科学科 講師)

平日毎日開催!

English Lounge

学生スタッフ 活動紹介

コラボレーションセンターの学生スタッフが日頃
どんな業務を行っているのか時間を追って紹介します。

8:30



開館準備

コラボレーションセンターは、朝の8:30より開館します。朝のスタッフは、自動ドアのスイッチ操作や、テーブル等の清掃・ゴミ袋の交換などを行い、施設を気持ちよく使っていただくための準備をします。

8:30



文房具等貸出

課題の作成やグループディスカッションの際に使用したいものが手元にない！ そんな時はSPACE2のカウンターにいる学生スタッフにお声かけください。様々な貸出用文房具をご用意しております。

8:20



イベント準備

昼休みにエントランスで行われる月一回の「SGU Lunch Time Talk」や学生の発表イベントがあるときは、ノートパソコンとエントランスの大型液晶画面・スタンドスピーカー・マイクなどの接続準備を行います。

8:50

機器トラブル対応



学生スタッフは、SPACE2・SPACE3・アクティブラーニング教室A-215・B-201の備え付け機器(スクリーン・wivia)、SPACE1のプリンターなどの使用方法の説明や機器トラブルの対応ができます。お困りの際はお声かけください。

8:00



ミーティング

コラボレーションセンターでは、学生スタッフが主体となって季節イベントなどのプロジェクトを企画し運営しています。進行中のプロジェクトは、定期的に各プロジェクトのメンバーが集まってミーティングを開催しています。

8:00



閉館準備



今年度は、昨年度までの活動を踏まえ、利用者の目線に立ちながら新たな取り組みを行ってきました。来年度はさらにより良いコラボレーションセンターを目指していきます。



自分なりの表現で 書初めアート

1月9日(水)に、人間科学科の河合直樹先生が担当している「教養ゼミナールB」主催の「書き初めアート」がエントランスにて開催されました。壁などには多くの作品が飾られており、眺めるだけでも楽しめるものでした。さらには、自分で書き初めを体験できるコーナーもあり、参加者は今年の抱負を文字や絵で思い思いに表現していました。



だるま企画

お正月企画として、今年度はエントランスに「だるまの絵馬」を設置しました。だるま型の絵馬に、今年1年の抱負と、だるまの顔を自由に描き、巨大なだるまに貼り装飾していただくという参加型企画です。抱負は漢字1文字で書いていただいたため、皆さんの今年1年に対する思いが強く伝わってきました。だるまの顔は、かわいらしいものや漫画のキャラクター。そして、個性的なものなど様々なものがありました。1月の授業開始日から月末までの1ヶ月間という短い期間でしたが、59枚のだるまが、大きなだるまに装飾されました。

- 普通免許
- 準中型免許
- 普通二種免許
- 企業安全運転講習
- 普通二輪免許
- 大型二輪免許
- ペーパードライバー講習
- 高齢者講習



桑園自動車学校HP

北海道公安委員会指定・技能試験免除校 桑園自動車学校

札幌市中央区北8条西14丁目 (011)271-7511
(JR桑園駅前・イオン桑園店屋上)

無料送迎バス
市内7方面
毎日112便運行!



こんなときは

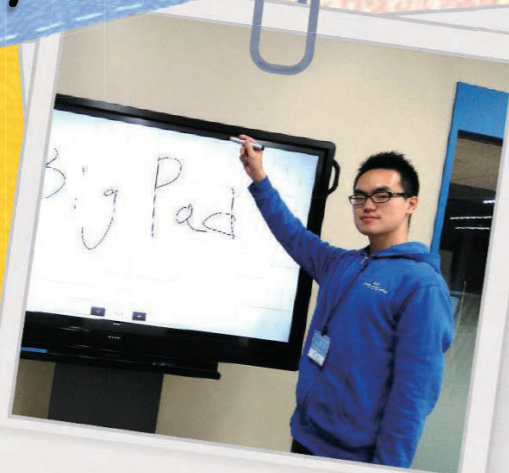
学生スタッフに聞いてみよう!

ピアサポート

ピアサポートとは、立場の同じ人が当事者に対して行う支援のことです。札幌学院大学コラボレーションセンターでは、学生によるピアサポート活動を推進しており、学生スタッフ自らがよりよいピアサポート活動を考案・実行しています。



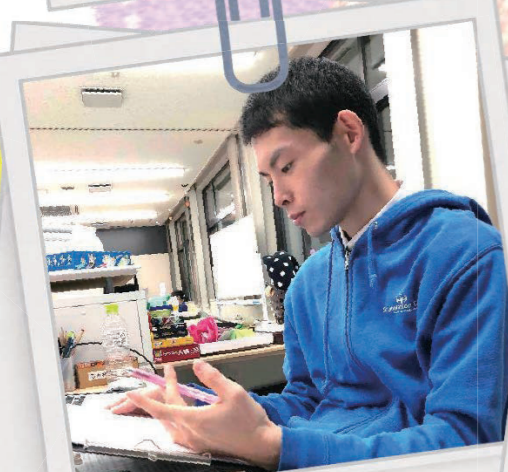
レポートを指定のサイズで印刷したい



PCの映像がスクリーンに映らない!



ミーティング場所を探してる!



カラフルな油性ペンを使いたい!



新しくクラブ・サークルを作りたい!



講義で使う
ポスターを印刷したい!



ノートPCを貸してください!



お気軽にご利用ください!

文房具貸出リスト

- 油性ペン(カラー)
- ボールペン・鉛筆
- 消しゴム
- ホワイトボードシート
- ホワイトボードマーカー
- ホワイトボードクリーナー
- 模造紙
- 磁石・マグネット
- 付箋
- 蛍光ペン
- メンディングテープ

新学期ピアサポート

4月はエントラスで新入生を中心に、履修相談等に応じました。



イベントカレンダー

エントラス横のデジタルサイネージに、学内の行事をまとめカレンダーを公開しました。

イベントカレンダー

11月26日～12月8日

午前:ピンク 昼休み:緑 午後:青 で色分けしています。

- | | |
|------|--|
| 26 月 | English Lounge-Helen Takahashi(エントラス) |
| 27 火 | English Lounge-Rob Olson(エントラス) |
| | 手話サロン(SPACE2) |
| | English Lounge-Toshi Shiraiishi(エントラス) |
| | セラピードッグ(学生相談室) |
| | English Lounge-Makiko Hashinaga(エントラス) |

北海道ピアサポートコンソーシアム

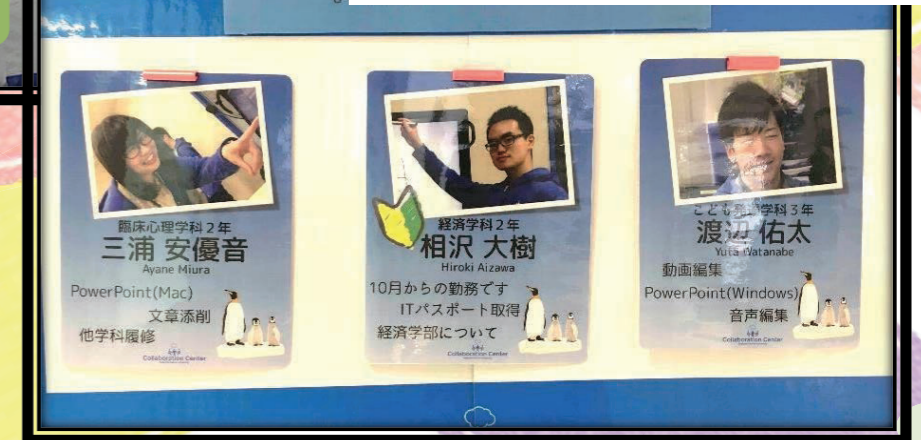
この活動は、道内各地の大学生がピアサポートについて話し合うなど、よりよいピアサポートを行うという目的のもとで成り立っています。



5月26日(土)、北星学園大学で開催された「北海道ピア・サポートコンソーシアム キックオフ会」に参加した際の学生スタッフの様子

スタッフ名札

今年度からスタッフの名札を新たに作成し、どのスタッフが勤務しているのかわかりやすくなりました。



2018年度採択されたプロジェクト

音声認識を利用した情報保障プロジェクト

札幌学院大学では、聴覚障害を持つ学生に対して、「パソコンテイク」や「ノートテイク」などの情報保障を行っています。しかし、従来の情報保障では支援者の負担が大きい上に、複数人の話者が存在する場合には支援が及ばない場合があります。このような現状を打開するために、「音声認識」機能を利用した情報保障の自動化を目指し、支援者や教員向けの講習会の開催や実際の講義で実験、被験者へのアンケートを基に実用化に向けた活動を行っています。今年度は話者が複数存在する場合（ゼミ形式の講義など）での音声認識による情報保障の研究を行いました。



ひとこと 支援に興味がある人、機械に興味がある人にはぜひ来てもらいたいです。面白そうだなと思ったらいつでも聞きに来てほしいです。写真の通り、私たちに華が無いので、華が欲しいです(笑)

めざせ！北海道初のフェアトレード大学プロジェクト



今年度採択された新規のプロジェクトです。札幌学院大学を北海道初のフェアトレード大学をすることを目的に、フェアトレード商品等の普及や周知活動について大学生が主体的に行動している先事例を調査・研究を行い、フェアトレードの周知・消費拡大のための活動を行っています。各種関係イベントへの参加、関係団体への取材、本学生協購買部での関係商品の販売促進活動、学内での周知活動などを主に行ってきました。長期的な活動を目標としていて、フェアトレードを推進するサークルを創設しました。

ひとこと フェアトレードに興味のある方はもちろん、興味はないけど大学で新しいことを始めたいと思っている人にぜひ入ってほしいです。

国内協定校「松山大学」・高知県土佐市との交流促進プロジェクト

札幌学院大学との単位互換・国内留学協定校「松山大学（愛媛県松山市）」と札幌学院大学の地元である江別市の友好都市「高知県土佐市」への訪問を通じて、今後の学生間交流の活性化や地域貢献活動を行い、北海道とは違う四国の文化に触れることで幅広い視野を見につけることを目的としたプロジェクトです。今年度も松山大学を訪問し交流を行いました。また、今年度は土佐市役所との予定が合わず、土佐市を訪問することはできませんでしたが、電話やメールなどを通じて来年度以降のために交流を深める準備を行っています。



ひとこと 新しいことにチャレンジしたい人、四国に興味がある人、他大学の人と交流をしたい人をお待ちしています！

携帯アプリ開発プロジェクト



札幌学院大学の情報（在学生用サイト・公式ホームページなど）がインターネット上で複数のサーバに散在している現状を踏まえ、利用者（学生など）が目的の情報に容易にアクセスできるように、統一的なアクセス手段としてスマートフォンなど向けのアプリを開発するプロジェクトです。昨年度までに、アプリでの情報取得及び利用可能化・新サーバの構築・アプリ開発手段の確定などが完了しています。今年度は主に、プロジェクトメンバー以外の利用者に活用してもらえらる段階に到達することを最優先の目的として、実用化にむけたユーザ検証を行いました。

ひとこと プログラミングに興味があり、中でもプログラミングを勉強する仲間が欲しい人に加わってほしいです。

幸福度を文献調査し、世界の現状を知るプロジェクト

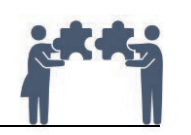
幸福度に対してどのような問題、価値観があるのかを文献調査し、幸福の基準は何かを調べるプロジェクトです。調査で知った結果をブログ等の方法で多くの人々に認知してもらい、現在の幸福度を再認識または、考え直してもらうことを目的としています。メンバー内での議論を重ね、より深い文献調査を行っています。



ひとこと 人手が必要だと感じるが多かったので、経営学部以外の学部学科の方にも参加してもらいたいです！

学生発案

プロジェクト



「学生発案プロジェクト」は、大学生活でやってみたいこと、日頃から考えているアイデアや熱い想いに、最高50万円を支援する札幌学院大学のプロジェクト支援事業です。

今年度は、アプリ開発や大学間交流など、合計5つのプロジェクトが進行しています。各プロジェクトには、情報発信サイトを立ち上げ、日々の活動の状況を配信することを義務付けています。

プロジェクト採択までの流れ

学生発案プロジェクト採択までの流れは、「①やりたいプロジェクトを考える、②計画書を作成する、③応募する、④審査会でのプレゼンテーション」の4つの過程から成り立っており、厳密な審査を経て決定されます。正式に採択された場合は、最大50万円の支援を本学から受けることができます。



プロジェクト採択後は??

学生により考えられたプロジェクトが審査会を経て、正式に採択されたあとは、実際に活動を始めます。プロジェクト活動をしていく中で、進行状況の報告を随時行うプロジェクトもあります。全てのプロジェクトが参加する最終報告会では、1年間の活動結果報告を行います。

審査会

審査会では、自分が発案したプロジェクトについて発表します。ここで採用かどうかが決まります。

最終報告会

最終報告会は、一年間の活動を振り返り、まとめた結果を報告する場所です。次年度へ向けた意気込みや準備・計画も進めておきましょう！

プロジェクト代表者に聞く！

学生発案プロジェクトって何してるの？

プロジェクト活動の裏側を聞きました！

それぞれ、どのようなことを目的に活動していますか？



臨床心理学科3年
杉澤 榛高

音声認識を利用した情報保障プロジェクト

松山 松山大学との、国内留学を促進することを目的にしています。何年も国内留学者が出ていないので、札幌学院大学の学生に愛媛の良さを伝えたり、松山大学の学生にも北海道の魅力を知ってもらえるような活動をしています。
アプリ開発 この大学に通っている学生はいろんな情報をネットから持っているから、いい情報を探しているんですが、その情報は色々なサイトに散らばっているんです。時間割などの情報をいちいち探すのは面倒くさいので、まとめて情報を届けるものがあれば便利だと思ってアプリを作っています。

音声認識 聴覚に障がいのある学生への支援活動として、音声認識が利用できるように活動しています。現在行っている、「パソコンテイク」や「ノートテイク」と同等の支援ができるようにしていきたいです。
フェアトレード 北海道で初めてのフェアトレード大学を目指して活動しています。日本全体でもフェアトレード大学は一校しかないんです。
幸福度 人それぞれ幸せの価値観は違うけれど、根本的にどうしたら幸福度が上がるのかを調べるためにやっています。現在は文献調査で幸福度を調べています。



経営学科2年
畑野 立樹

幸福度を文献調査し、世界の現状を知るプロジェクト

めざせ！北海道初のフェアトレード大学プロジェクト



経営学科2年
相馬 謙裕

国内協定校 松山大学・高知県土佐市との交流促進プロジェクト



英語英米文学科3年
佐藤 慧

来年度以降の展望はどうですか？

松山 松山大学から正式に留学する学生が出てきてほしいです。また、本学からも留学生を出したいですね。今年行けなかった土佐市には、来年度学生が行って江別市との架け橋になってほしいと思います。
幸福度 まずは文献調査を終わらせたいです。文献調査を進める中、人手が足りないと思うことがありました。来年は、他学部他学科の学生にもぜひ参加してほしいです。
アプリ開発 来年度には完成版ができ、学生に使うてもらえたらいいなと思います。このアプリが本当に使えるものなのか、学生と対話をして、より有用性のあるアプリにしていければと思います。
フェアトレード 今年度は、フェアトレード大学の条件となる学生団体を創設しました。来年度は、サークルとしての活動を学内で積極的に発展させていきたいです。また、毎年行われるフェアトレードフェスタの手伝いもしていきたいです。

音声認識 どう配慮していくかが課題になっています。特に、先生が話者になるため、機械をどう使うかの説明も必要ですが、話すスピードや言葉によって認識率が変わるんです。そのため、教員にどう配慮してもらうかは課題ですね。この大学は聴覚に障がいのある学生への支援が良いと言われていますが、もともと多くの学生を迎えられるよう、教職員と一体になって支援できるようにないかなと思っています。



プロジェクト活動を通して得たものや、感じたものなどはありましたか？

松山 私は一年生のころから人前に出てプレゼンをする機会が多くありました。最初は嫌だと思っていましたが、今は自信を持ってプレゼンすることが出来るので、大きく成長させてもらったなと思っています。
アプリ開発 やりたいことがあって、このやりたいことにはお金がかかって、そのお金を手に入れるためにプレゼンをして、一つの目標に向かって仲間と頑張っていくという過程を経験できたことが良かったと思います。

音声認識 私たちが行っている支援は利用者主体ではなく、支援者主体になっているなと感じました。もし、私が支援を受けている側で、誤認識が多く、テイクアウトの連携もうまく取れてなかったら、自分が必要としているものが全く提供されていないわけなので、ゾッとしますね。
フェアトレード アポを取ったり、スケジュール調整をすることに難しさを感じましたが、良い経験にもなりました。



アプリ開発で使用する機材



学内でフェアトレード商品の販売



フェアトレード商品



音声認識の実験風景



松山大学で本学を紹介



予告

コラボレーションセンターでは、学生発案プロジェクトを募集しています。学生のみなさん、日頃から考えているアイデアや熱い想いを仲間と一緒に実現してみませんか？

2019年度分募集の詳細については、4月以降にコラボレーションセンターが運用するSNSや学内掲示ポスターにてご連絡しますので、興味や関心のある学生は、見逃さずチェックしてください。



法律学科3年
松原 巧実

携帯アプリ開発プロジェクト

幸福度 幸福度はどうすれば上がるのかを調べるための文献調査を行いました。全ての文献調査が終わっておらず、個別に文献を読み進めるだけに留まっています。今後、メンバー内で議論するなど、文献を読み進め、SNS等で情報を発信していこうと思います。
音声認識 今年は実際の講義に導入して実験をしました。認識率が低いなどの課題もあります。来年には音声認識を使った支援体制を作っていくのか、という段階まで進みました。

今年1年の活動を振り返ってどうでしたか？

アプリ開発 今年はプログラミングの勉強をしました。特にどのようにプログラムを組み込んでいくかの情報収集が難しかったです。でも、アプリのシステムが上手く動いた時は嬉しかったです。
松山 土佐市との交流はできませんでしたが、松山大学とは国内留学を促進したいので、留学できる可能性が高い、一・二年生との交流を中心に行いました。その結果、資料請求してくれた学生もいて、やった甲斐がありましたね。
フェアトレード 東京へ視察に行ったり、その他にも札幌大通りで開催されたフェアトレードフェスタに参加するなどの活動を行いました。フェアトレード商品を学内で販売したことはいい経験になりました。一回目に学内で販売したときは完売でした。

広報活動

コラボレーションセンターにて行われる様々なイベントの予告や開催報告などに関する情報は、SNSを用いて皆さんにお届けしています。各種SNSのアカウントにつきましては、裏表紙にQRコードとURLがありますので、アクセスとフォローをよろしくお願いいたします！



各種SNSの主な内容

- Twitter**
 - 毎週更新の謎解き、大喜利の回答や投票
 - イベントの予告 など
- Facebook**
 - イベント・行事の開催報告 など
- Instagram**
 - 日常の風景やイベントの様子などの写真 など

広報紙

学内向け広報として、月に1度、イベントの報告や1カ月のスケジュールをまとめた「広報コラボ」、年に1度、年間の活動をまとめた「年報」を発行しています。

どちらもページのレイアウトや内容などは、学生スタッフが1から作成しています。コラボレーションセンターにて掲示と配布を行っています。気になった方はぜひ手に取って、ご覧になってください！



編集後記

コラボレーションセンターも4年目を迎え、新さっぽろでのクリスマス謎解きラリーを開催するなど、学外でのイベントにも参加し、活動の幅も広がっています。また、第4号では、コラボレーションセンターの活動にご賛同いただいた企業・団体の皆さまにご支援をいただきました。さらに、学生の声も多く取り入れ、昨年度とは違った雰囲気のある年報を作成することが出来ました。年報作成にあたり、ご協力いただいた企業・団体の皆さま、教職員・学生の皆さまに感謝申し上げます。

来年度も変化を取り入れ、コラボレーションセンターとしての活動を発展させていきたいと思っております。

年報作成プロジェクトメンバー：三浦安優音(2年) 斎藤颯人(2年) 寺岡 瑠里(3年) 藤原昇汰(4年)

コルクボードプチ謎解き こたえ

Q.1

50音表を見てください。横一列は、5文字を50音表で探し、その文字の左を見てもらひ町(まち)があります。

人 わ ら や ゑ る れ さ か あ り あ ひ に し き い ち め り れ め へ お て せ け え ち ろ よ も ほ の と ま こ お

橋の左には町がある

Q.2

①O+live 仲間はすれはなです。
②G+rain
③C+lock
④B+lack

Q.3

それぞれの回数は・・・
・科(9)学十化(4)学=数(13)学
・国(8)語=英(8)語
・生(5)物十音(9)楽=〇〇

5+9=14(画)になるのは「歴」なので答えは、「歴史」

Q.4 解答

11月3日=★んかの日 8月11日=★まの日
5月4日=★どりの日 1月1日=★んたん

Q.5

答え 愛媛県
アルファベット表記すると・・・
Akita→Aomori→Iwate→〇〇

母音でしりとりをすると、最後は「E」から始まる。「E」から始まる都道府県は愛媛県のみ。

Q.6

か +4 ↓ コ
さ +2 ↓ ス
ま +4 ↓ モ
し +1 ↓ ス

Q.7

答え H (Hour)
Second→Minute→Hour (秒) (分) (時間)
→Day→Week→Month→Year (日) (週) (月) (年)

Q.8

県(道)庁所在地の漢文字になっています！
(?1)があるところは北海道なので「さ」
(?2)があるところは福島県なので「ふ」

札幌学院大学文泉会(同窓会)

文泉会(同窓会)は、49,817余名の会員を擁する同窓会組織であり、多くの会員が各地域・職域で活躍しております。

札幌学院大学文泉会(同窓会)

会長 佐藤 政隆(商大1期)

—(株)ドン・リース&レンタル 代表取締役社長—

札幌支部・江別支部・石狩支部・小樽支部・岩見沢支部・千歳支部・室蘭支部・函館支部・旭川支部・滝川支部・砂川支部・深川支部・苫小牧支部・十勝帯広支部・釧路支部・日高支部・伊達支部・北見支部・中標津支部・上川北支部・夕張支部・紋別支部・網走支部・余市支部・留萌支部・宗谷支部・富良野支部・札幌市役所支部・東京支部・神奈川支部・埼玉支部・中部支部・青森支部・八戸支部・宮城支部・関西支部

店舗	F館1階		G館6階	G館7階	G館5階	
	購買・書籍店	旅行・サービス店	カフェテリア ソレイユ	カフェテリア フアランステール	レストラン 文泉	
営業時間	平日	8:30~18:15	9:30~17:00	10:30~15:00	11:00~13:30	
	土曜	10:30~13:30	定休	11:00~13:30	定休	
	定休	日・祝・大学の閉館日	日・祝・大学の閉館日	日・祝・大学の閉館日	日・祝・大学の閉館日	日・祝・大学の閉館日
主な扱い品目	パン・弁当・カップ麺 菓子、デザート、飲料 文房具、PC周辺機器 書籍、雑誌 大学オリジナルグッズ POSAカード、雑貨		旅行手配、留学相談 自動車学校、資格試験 出張手配、共済窓口 住居紹介、情報機器	麺類(そば、うどん、ラーメン)、小鉢、惣菜、サラダバー、季節フェア、飲料、デザート、など	各種丼、カレーライス、海鮮丼(毎週金曜)、など	セットメニュー、パスタ、コーヒー、など
	※大学の夏休み、春休み、入学試験等で閉店する店舗もございます。詳しくはHPをご覧ください。 https://www.hokkaido.seikyuo.ne.jp/sgu/bhours/ Tel 011-386-2971・6536・2956					

札幌学院 大学生協

愛されて54年





Collaboration Center

Sapporo Gakuin University



<https://www.facebook.com/SGUCollaborationCenter/>



https://twitter.com/SGU_Collabo



https://www.instagram.com/sgu_collaborationcenter/